

● 診療科の特色

1. 受診すべき科がわからないときに内科初診外来として専門科へつないでいます。
2. プライマリ・ケア領域の急性疾患については当科で診断治療させていただいています。
3. 科を越えて横断的な対応が必要な患者さんや診断がつかないまま症状が窮迫している患者さんの入院主科として治療や療養にあたっています。
4. 感染症内科と協力し適正な感染症治療の実現を目指しています。
5. 研修医の診療の基礎を築く手助けになるよう指導をこころがけています。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 358 名(転科患者を除く)

	疾患	患者数
1	誤嚥性肺炎	52
2	敗血症	29
3	腎盂腎炎	28
4	COVID-19	28
4	尿路感染症	28
4	肺炎・気管支炎	18
7	電解質異常	14
8	うっ血性心不全	9
9	リウマチ性多発筋痛	8
10	脱水症	7

当科の入院患者は高齢者が大半で、誤嚥性肺炎を含めた感染症が主病となっています。COVID-19 患者さんの診療にも対応いたしました。嚥下評価で経口摂取困難と判断され、今後の栄養についてケースワークを行い、胃瘻造設に至る症例もしばしばみられました。また、独居老人が救急搬送され帰宅困難でそのまま入院するケースが増えてきている印象です。非感染性疾患も対応していました。

若年層の入院は日常生活に支障のある症状を呈しながら診断がついていない、不明熱のような症例が多く、最終的な診断はさまざまに確定診断に至らないことも珍しくありません。その中にリケッチア感染症や重症熱性血小板減少症候群がみられることは、当院の立地の特色ではないかと感じています。

● 研究業績

学会発表

- 1) 当院で診断した重症熱性血小板減少症候群(SFTS)6例における診断時の血清中ウイルスコピー数と転帰についての検討

岩本 佳隆

第96回 日本感染症学会総会・学術講演会

2022年4月23日

- 2) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)に好酸球性心筋炎を合併した1例
藤本 倫代
第 126 回 内科学会中国地方会 2022 年 5 月 8 日
- 3) 唾液の誤嚥により陰圧性肺水腫を生じた 1 例
長尾 彩芽
第 126 回 内科学会中国地方会 2022 年 5 月 8 日
- 4) 可逆性脳梁膨大部病変(MERS)を合併したオウム病の一例
井上 智敬
第 67 回 日本呼吸器学会 中国・四国地方会 2022 年 12 月 17 日
- 5) 不明熱を契機に診断に至った無汗症の 1 例
江里 悠哉
第 127 回 内科学会中国地方会 2022 年 12 月 17 日
- 6) 卵形マラリアの 1 例
安藤 翼
第 127 回 内科学会中国地方会 2022 年 12 月 17 日
- 7) 術後の持続する発熱を契機に無汗症と診断した 1 例
岩淵 愛央
第 26 回 日本病院総合診療医学会学術総会 2023 年 2 月 19 日
- 8) 可逆性脳梁膨大部病変(MERS)を伴ったオウム病の一例
高谷 優
第 26 回 日本病院総合診療医学会学術総会 2023 年 2 月 19 日